

カトリックさいたま教区サポートセンター ボランティア活動報告⑩

第 31 チーム・2011年 10月 27日(木)～11月 1日(火)

■湯本サポートステーション (福島県いわき市)
(信徒男性 2名、信徒女性 1名、シスター 2名、司祭 1名、計 5名)

木曜日の午後 3 時、常駐スタッフの案内で、UR 都市機構案内所内のもみの木カフェを見せていただく。座布団 6 枚を UR カフェに持って行く。夕方 7 時に湯本ステーションのビデオを観て、明日のスケジュールを確認する。

金曜日の朝食後、女性組はおにぎりの準備。朝 9 時半に被災地視察。7 か月過ぎて随分整理されていた。壁や屋根など新しくなっている家が目立った。しかし、はじめて今日訪れたボランティアによると「やはり心が痛み、TV との報道とは違う現場にあらためて感じさせられた」とのこと。皆で亡くなった方々のために祈った。いわき教会にて昼食後、みみの会といわき教会のボランティアの連絡会。氏家神父が司会。4 つのグループに分かれて第 10 仮設にポスティング兼訪問する。午後 4 時、傾聴訪問について各グループから報告する。その後 11 月 3 日の「秋の小さいお祭り」についての話し合いをする。その後、今後のもみの木の運営などの説明があった。買い物をして帰り、すぐに夕食の準備を始める。

土曜日、仮設住宅へ 2 グループに分かれて、「秋の小さいお祭り」のチラシのポスティング。仮設住宅で出会った人の中に、再度訪ねる方が良いなと思った方々が何人かいた。重いものを心に抱えていると思われる人、脚を痛めている一人暮らしの方など。みみの会のメンバーが親しくしている被災者の方にも出会った。夕食にスリランカ人のチームメンバーが母国風カレーを作ってくれる。夕食を兼ねてミーティング。明日の説明を受ける。この日は皆早々と風呂に入ったり、個人的な活動をする。

日曜日、ミサ後にいわき教会へ出発し、お祭りに出すサンマ汁の試食をした。午後は昨日の残りのポスティング。傾聴の際に出会った人々の中には、手芸で小物を作っている方、最近引っ越してきて外出の時に迷子になった方、以前原発で働いていた方、寂しいので話し相手がほしいとおっしゃる方…などがいらっしまった。

月曜日の朝食後、一昨日に引き続き、2 組に分かれてポスティング。すでに多くの方々が「秋の小さいお祭り」の開催についてよく知っていて、笑顔で受け取ってくださる。昼食後、仮設住宅に戻り、特に気になる人々を訪問。今日出会った方々の中には、親の介護をしている方、農家出身で今はすることがなく体が弱くなってくるため、今は仲間と一緒に散歩や買い物に行ったりしている方（「畑があれば、今頃はゆっくりなんかしておられないのに、全く！」）、仮設住宅での生活の不満を吐き出す方がいらっしまった。



ゴミの分別…大事な仕事！



いわき社会福祉協議会によって行われたイベント

◆◆教区広報チームより◆◆

今年 5 月から掲載が始まった、この「ボランティア活動報告」は今回で 10 回目を迎えました。ボランティアがどのような活動をし、何を見聞きし、何を感じたか…それを多くの方々に知っていただくために、派遣されたボランティアが実際に教区サポートセンターに毎日 FAX 送信するレポートから個人情報を除いたものを、この報告書にそのまま載せています。

第32チーム・2011年11月3日(木)～11月8日(火)

■湯本サポートステーション（福島県いわき市）
(通常のボランティアチームの派遣はなし。シスター2名が交代で交流カフェもみの木へ)

11月1日ついに、交流カフェ「もみの木」がオープン。ログハウスのステーションが建設されるまで、すぐ近くの場所(UR都市機構案内所)で傾聴カフェの活動をする。地元の方々が自由に入っておしゃべりしたり、休んだりすることができる。開店時間はもみの木ステーションが完成するまでの毎日10:30AM～15:30PM。お茶とコーヒー無料。冬物などの衣服も置いてある。地元の方々のお越しをお待ちしています！



交流カフェ「もみの木」の様子



「いわきサポートステーションもみの木」となるログハウスの土台

2011年11月3日(祝・木)

11月3日(木)、栃木県の各ブロック・教会の方々により「秋の小さいお祭り」が仮設住宅近くの公園で行われた。本場の宇都宮餃子やおにぎり、また、いわきの方々が作った地元の味・サンマ汁などがふるまわれ、大盛況だった。さまざまな音楽・踊りなどで、深まりゆく秋の一日を楽しんだ。



宇都宮餃子…いいにおい！



よさこい



ペルー・ダンス



冬物バザー・景品の手編みのこたつカバー